

第5回鋼構造シンポジウム「鋼構造接合部の工業製品化」

建築を取り巻く厳しい社会環境の中、鉄骨製作の分野においても生き残りを掛けて、日々生産性の向上に努力している状況である。そのような中、溶接を使わない鋼構造システムも研究されており、今回は、超高強度ボルト（F14T）の使用を前提に、方杖ダンパーや高すべり係数のアルミ溶射添板を用いて接合部を簡略化し、品質を安定させた事例などを紹介する。

なお、本シンポジウムは、日本建築学会中国支部構造委員会と日本鉄鋼連盟中国地区サブネット事業委員会が協力して開催する。

主 催：日本建築学会中国支部 日本鉄鋼連盟
共 催：日本建築構造技術者協会中国支部
協 賛：協同組合広島県鉄構工業会 日本建築協会中国支部

内 容：製作に配慮した鋼構造接合システムとその事例紹介

講 師：井上一朗

（京都大学名誉教授、（財）日本建築総合試験所試験研究センター長）

日 時：平成23年12月3日（土）14:30～16:30

会 場：広島工業大学広島校舎501室（広島市中区中島町5-7 TEL082-249-1251）

定 員：120名（定員になり次第受付を終了します）

対 象：本会・協賛団体会員、建築技術者、大学院生、大学生

会 費：無料

問合せ・参加受付先

岡山理科大学工学部建築学科 田中利幸

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1

E-mail：tanaka@archi.ous.ac.jp

TEL/FAX086-256-9753